

自然を満喫！ ＜5年・野外活動＞



8月2日・3日の2日間、今年も四日市市少年自然の家で野外活動を行いました。この時期、天候が不安定で連日夕立が続いており心配していましたが、幸い鈴鹿の山は天候に恵まれすべて予定通り行うことができました。

ネイチャーゲーム

四日市市少年自然の家に着くとすぐに「ネイチャーゲーム～ふれあいの森で五感を使おう～」に出発しました。班ごと地図をもとにコースを歩きながら、自然とふれあう問題に挑戦していきました。「動物の名前がついた木を探す」「大門池の水の温度を手触りで調べる」など班のメンバーが協力しながら楽しく答えを探していきました。途中の展望台では、すばらしい景色が広がる中でおいしくおにぎりを食べることもできました。



野外炊飯

ネイチャーゲーム終了後、入所式を行い、その後部屋でベッドメイキングを行いました。荷物の整理ができたところで野外炊飯に取りかかりました。全体での注意点を聞いてからそれぞれの分担の仕事を開始。かまどの係は、薪の組み方の説明を聞いたからそれぞれのかまどにセットして、点火。班によっては火のつきが悪く苦労していましたがなんとか燃え上がりました。火の準備ができたところに飯ごうも用意でき、順調にご飯を炊くことができました。しかし、カレー係はニンジンやジャガイモを切るのに悪戦苦闘し、なかなか到着しません。薪がどんどん燃えてしまうので、新しい薪を取りに行き、火を絶やさないようにしました。しばらくするとカレーのなべも到着し、煮込んでいきました。どの班もおいしいカレーが完成し、何杯もおかわりをしていました。しかし、ご飯を8合も炊いてあるので、食べても食べても無くなりません。がんばって食べることができる子でなんとか食べきりました。食べ終わったら今度は、片付けです。なべや飯ごうのチェックが厳しく、少しでも汚れが残っていると洗い直しになり、みんな協力してがんばって磨いていました。



キャンプファイヤー

野外炊飯の片付けが終わると次は、野外活動のメインイベント、キャンプファイヤーです。まず最初が、セレモニアルファイヤーです。代表が分火してもらってから誓いの言葉を言い、キャンプファイヤーの井げたに点火したらボンファイヤー（親睦の火）の開始です。色々なゲームやダンスをみんな楽しんで楽しむことができました。グループごとに学校でしっかり練習してきた出し物もお互い披露して、一段と盛り上がりました。ファイヤーの火が下火になったところで、キャンプカウンセラーさんから火の舞をプレゼントしてもらい、最後にその火で『ゆめ』の火文字に点火し、感動しながらキャンプファイヤーを終了しました。



カヤック体験

2日目も朝から快晴で、朝の集いで元気よくラジオ体操をしてスタートしました。朝食、部屋の片付けをしてから池の近くの広場に集合しました。準備運動をした後、インストラクターさんからライフジャケットの着方やパドルの使い方を教えてもらい、練習してから池に移動しました。カヤックの乗り降りの注意点を聞いてから、順番に乗り込み出発です。最初はなかなか思う方向に進まず、うろうろしていたり池の端の方にどんどん行ってしまったりと心配なチームが目立ちましたが、しばらくするとパドルの使い方にも慣れて、それぞれ気持ちよくこいで進んでいきました。途中、インストラクターさんが鬼になってカヤックを使った鬼ごっこをするなどゲームも楽しみました。



水生生物観察

カヤックが終わってから、そのまま大門池周辺で水の中にすんでいる生き物を探しました。自然の家から借りたもので池の周囲や池に流れ込む小川の底をすくうと、小魚やサワガニ、エビなどをゲットすることができました。普段身近にいない谷川の生き物を間近に見ることができ、みんな夢中になって探していたのであつという間に時間がきてしまいました。



みんな協力して、盛りだくさんの内容を無事すべて行い、予定通り学校へ到着することができました。2日間一生懸命取り組んだので、さすがに疲れて解散式では半分ねむっているような状態でした。この野外活動の体験で、協力することの大切さを学び、そのためにきちんと指示を聞いたり時間を守ったりすることの重要性を理解することができました。全員が一段と成長して家路につくことができました。

青色パトロール車出発式

これまでもボランティアで青色パトロールの活動を行っていただきましたが、今回十四山地区コミュニティの活動として進めていただけることになりました。パトロール車も、これまでは個人の車を使用してみえましたが、今回市から専用のパトロール車がいただけそうです。そこで、1日(月)にその出発式が行われました。子どもたちの登下校を見守っていただくということで、式に6年生の さん、 君、 さんが代表として参加しました。 さんには、これまでお世話になったお礼とこれからの願いを小学生代表の言葉として発表してもらいました。

